

## TiFRONTクラウドセキュリティスイッチ ハードウェア仕様 (TiFRONT CSシリーズ SPEC v1.0.0)

製品モデル		TiFRONT-CS2412G	TiFRONT-CS2412GP	TiFRONT-CS2710G	TiFRONT-CS2710GP	TiFRONT-CS2728G	TiFRONT-CS2728GP	TiFRONT-CS2728GX	TiFRONT-CS2728GXP
製品画像						Coming Soon 2017.		Coming Soon 2017.	
インターフェース	最大ポート数	12	12	10	10	28	28	28	28
	10/100Base-TX	—	—	—	—	—	—	—	—
	10/100/1000Base-T	10	10	8	8	24 (*1)	24 (*1)	24 (*1)	24 (*1)
	1000BASE-X SFP	2	2	2	2	8 (*1) (*2)	8 (*1) (*2)	4 (*1)	4 (*1)
	10G SFP+	—	—	—	—	—	—	4 (*2)	4 (*2)
	管理ポート (*3)	1	1	1	1	1	1	1	1
	コンソールポート (*4)	1	1	1	1	1	1	1	1
処理能力	最大スイッチ容量	100Gbps		140Gbps		140Gbps		140Gbps	
	最大スループット	35.71Mpps		29.76Mpps		83.33Mpps		190.48Mpps	
	MACアドレス登録数	16K		16K		16K		16K	
	ジャンボフレーム	12K		9K		9K		9K	
メモリ	フラッシュメモリ	256MB (OS 128MB, Log Buffer 128MB)		512MB (OS 256MB, Log Buffer 256MB)		288MB (OS 32MB, Log Buffer 256MB)		288MB (OS 32MB, Log Buffer 256MB)	
	メインメモリ	512MB		512MB		512MB		512MB	
PoE規格	PoE	—	IEEE802.3af	—	IEEE802.3af	—	IEEE802.3af	—	IEEE802.3af
	PoE+	—	IEEE802.3at	—	IEEE802.3at	—	IEEE802.3at	—	IEEE802.3at
	UPoE (60W)	—	—	—	—	—	IEEE802.3bt	—	IEEE802.3bt
	最大給電可能電力	—	240W	—	120W	—	740W	—	740W
電源	定格電圧	AC100~240V (50/60Hz)		AC100~240V (50/60Hz)		AC100 ~ 240V (50/60Hz)		AC100 ~ 240V (50/60Hz)	
	最大消費電力 (*5) (*6)	27.5W	36.7W	27.5W	36.7W	29.03W (S) / 29.23W (D)	54.07W (S) / 81.58W (D)	28.37W (S) / 28.42W (D)	55.81W (S) / 83.52W (D)
	電源冗長化	—	—	—	—	○ (オプション)	○ (オプション)	○ (オプション)	○ (オプション)
	ケーブルロック	○	○	○	○	○	○	○	○
筐体	サイズ [WxDxH]	220 × 290 × 44 (mm)	220 × 350 × 44 (mm)	220 × 209 × 44 (mm)	220 × 209 × 44 (mm)	440 × 215 × 44 (mm)	440 × 475 × 44 (mm)	440 × 215 × 44 (mm)	440 × 475 × 44 (mm)
	筐体タイプ (*7)	ハーフサイズ (1U)		ハーフサイズ (1U)		ラックマウント (1U)		ラックマウント (1U)	
	重量 (*5)	2.9Kg	3.6Kg	1.5Kg	1.7Kg	2.75Kg (S) / 2.9Kg (D)	7.3Kg (S) / 7.4Kg (D)	2.75Kg (S) / 2.9Kg (D)	7.3Kg (S) / 7.4Kg (D)
	USBポート	○		○		○		○	
動作条件	温度	0~40℃	0~40℃	0~55℃	0~40℃	0 ~ 50℃	0 ~ 40℃	0 ~ 50℃	0 ~ 40℃
	湿度	0~90% (結露のないこと)		0~90% (結露のないこと)		0 ~ 90% (結露のないこと)		0 ~ 90% (結露のないこと)	
認証・その他	スタック機能	—		—		○		○	
	EMC認証	VCCI (クラス A)		VCCI (クラス A)		VCCI (Class A)		VCCI (Class A)	
	IPv6対応	IPv6 ready logo (Phase2)		IPv6 ready logo (Phase2)		IPv6 ready logo (Phase-II)		IPv6 ready logo (Phase-II)	
	RoHS対応	RoHS Compliance		RoHS Compliance		RoHS Compliance		RoHS Compliance	

\*1 内4ポートは10/100/1000 BASE-Tと1000BASE-X SFPの排他利用ポート (Dual media combo port) です。

\*2 スタック機能使用時は2ポートをStackingポートとして使用します。

\*3 管理ポートのインターフェースは10/100Base-TXです。

\*4 コンソールポートのインターフェースはRJ-45のRS232Cです。

\*5 最大消費電力・重量の表示において、(S)は電源装置が1個の場合、(D)は2個の場合を示します。

\*6 PoE機能モデルの最大消費電力は、「最大消費電力+PoE規格の最大給電可能電力」になります。

\*7 各モデルに専用ラックマウントキットを標準付属品として同梱します。

\*8 本製品スペックはTiFRONT CSシリーズ SPEC v1.0.0(2017年5月)を基にしています。製品スペックは予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## TiController クラウド管理型システム ソフトウェア仕様 (TiController SPEC v1.0.0)

区分	項目	説明
インストール	ゼロタッチインストール	DHCP及びテザリングによるゼロタッチインストール(ZTI)
	プラグイン	USBポートを使用した設定のインストールとOSアップデート機能を提供
	スイッチ本体でのGUI	スイッチへの設定とOSアップデート
		アップリンクやTiControllerへの設定
		スイッチの設定
	ping、Tracert等のライブツールの提供	
管理	マルチテナント	管理権限に応じた複数のユーザーを管理
	スイッチ管理	スイッチの設定・管理/ポート管理/トラフィック状況の管理
	トラフィック管理	ネットワーク、ポート、ホストなどのトラフィック状況を管理
	地図情報	地図上でスイッチを設置している場所を確認
	ネットワークポロジ	トポロジー図の作成
	ファームウェア	ファームウェアのアップデートをタイマー設定できる
	リモートでの診断	セキュリティログ
		イベントログ
		ライブツール(Ping, Traceroute, ケーブルテスト、スイッチの再起動)
		テクニカルヘルパー
	仮想スイッチ設定	TiController上の仮想TiFRONTへ設定を実施し、反映させることができる
機器交換	交換した機器へ元々使用していた設定を即時反映させることができる	
L2機能	VLAN	VLANの管理
		VLANのID・名前
		スイッチポートへの適用
		タグVLAN
	RPVSTP	Disable/enable
		Bridge priority
		Setting for each VLAN
	ポートの設定	PoE
		フローコントロール(オートネゴシエーション/duplex/Port speed)
		ジャンボフレーム
	QoS	QoS 設定可能項目
		- ポートフィルタリング
		- TCP/UDP フィルタリング
- クラスマップ		

区分	項目	説明
L2機能	セルフループ防止	セルフループ防止機能
	ポートミラーリング	ポートミラーリング (1:N)
	リンクアグリゲーション	LACP
	ACL	L2/L3/L4 based filtering
セキュリティ	フラッディング	TCP syn flooding / TCP ack flooding / UDP flooding / ICMP flooding / ARP flooding
	ネットワークスキャン	TCP / UDP / ICMP / ARP
	ポートスキャン	TCP syn / TCP ack / UDP / Stealth
	プロトコルアノマリー	Land attack / Invalid TCP flags / ICMP fragments / TCP fragments / Smurf attack
	スプーフィング	ARPスプーフィング / IPスプーフィング
	SMB trace	SMB trace
	ネットワークの可視化	ダッシュボード
ネットワークのアラーム / 機器の接続状態 / 機器アラーム / 更新状況		
セキュリティレポート		レポート管理
		スケジュール設定